

October 22, 2020

**【前日の為替概況】ドル全面安、対円 104.34 円、対ユーロ 1.1881ドル、対ポンド 1.3177ドル**

21日のニューヨーク外国為替市場でポンドは全面高。バルニエ欧州連合（EU）首席交渉官が「EUと英国が互いに妥協の姿勢を示せば合意は間近」と述べたことをきっかけに、交渉合意の期待が高まりポンド高が進んだ欧州市場の流れが継続。「英国とEUの通商交渉は11月半ばまでの合意を目指し再開される見通し」との報道もポンドの支援材料。英政府が正式に「EUとの自由貿易協定（FTA）など将来関係をめぐる交渉を再開する」と表明するとポンド買いが加速し、ポンドドルは1.3177ドルと9月8日以来の高値を付けた。また、ポンド円は137.67円、ユーロポンドは0.9012ポンドまでポンド高に振れた。

ユーロドルは4日続伸。終値は1.1861ドルと前営業日NY終値（1.1822ドル）と比べて0.0039ドル程度のユーロ高水準だった。オフショア市場でドル安・人民元高が進んだうえ、ポンドドルが大幅に上昇した影響を受けてユーロ買い・ドル売りが優勢となった。米追加経済対策の合意期待も投資家のリスク選好につながり、ユーロ買い・ドル売りを誘った。23時30分過ぎに一時1.1881ドルと9月16日以来の高値を付けた。ただ、新型コロナウイルスのワクチン開発を巡る不透明感から米国株が失速すると、リスク・オンのドル売りが後退したため伸び悩んだ。

ドル円は3営業日ぶりに反落。終値は104.59円と前営業日NY終値（105.50円）と比べて91銭程度のドル安水準。ドルが人民元やポンドに対して下落した影響を受けて、円買い・ドル売りが優勢となり、104.34円と9月21日以来1カ月ぶりの安値を付けた。市場では「2日に付けた直近の安値104.94円を下抜けたことで断続的にストップロスを誘発した」との声が聞かれ、テクニカル的な売りが出た面もあったようだ。ただ、米国株が失速するとドル売りの勢いは後退し、104.62円付近まで下げ渋った。

ユーロ円は4日ぶりに反落。終値は124.06円と前営業日NY終値（124.72円）と比べて66銭程度のユーロ安水準。ドル円の下落につれた円買い・ユーロ売りが優勢となり、24時前に一時123.91円と日通し安値を付けた。その後の戻りも124.18円付近にとどまった。

**【本日の東京為替見通し】ドル円、米追加経済対策への不透明感から軟調推移か**

本日の東京外国為替市場のドル円は、明日23日の11時（米国中部時間午後9時）からテネシー州のナッシュビルで開催予定の第2回米大統領候補討論会を控えて動きづらい展開の中、トランプ政権と民主党による経済対策法案が米大統領選挙前に成立する可能性が低いとの見方から上値が重い展開が予想される。

ドル円は、追加景気対策法案が今週末までに妥結しても、上下両院の承認を経て11月3日の米大統領選挙前に成立する可能性が低いとの見方から、ニューヨーク株安・米金利上昇のリスクオフ地合いで軟調推移となっている。

追加景気対策法案の協議は、ペロシ米下院議長とムニューシン米財務長官による協議が続いており、メドウズ大統領首席補佐官は今後48時間以内に包括的な景気対策法案で合意を取りまとめることを目指すと述べている。しかし、今週中に妥結しても、米上院での承認協議は難航が予想されることで、大統領選前の成立は困難との懸念が浮上している。

ペロシ米下院議長の戦術は、米上院での協議を難航させることで、バレット最高裁判事候補の承認を大統領選以降に先送りすること、共和党の反対で経済対策法案が成立しなかったことで大統領・上下院議員選挙を有利にする、との憶測もあり、予断を許さない状況が続くことになる。

第2回米大統領候補討論会は、前回のように相手が発言中に遮ることを防ぐため「ミュート」されることになっており、論点は、新型コロナウイルス対策、アメリカの家族問題、アメリカの人種問題、気候変動、国家安全保障、リーダーシップ、となっている。

トランプ米大統領が突きたいポイントは、ニューヨーク・ポスト紙が報じたウクライナのプラズマ者幹部のメール、バイデン民主党候補が突きたいポイントは、ニューヨーク・タイムズ紙が報じたトランプ米大統領が中国金融機関に保有する銀行口座なのかもしれない。

トランプ米大統領は、大統領選に向けた外交的成果として、2021年2月に期限が切れる米ロ新戦略兵器削減条約（新START）の延長を表明することが予想されている。

**【本日の重要指標】** ※時刻表示は日本時間

## &lt;国内&gt;

○08:50 ◇ 対外対内証券売買契約等の状況（週次・報告機関ベース）

## &lt;海外&gt;

○15:00 ◇ 11月独消費者信頼感指数（Gfk調査、予想：▲2.8）

○15:45 ◇ 10月仏企業景況感指数（予想：92）

○16:00 ◎ パネッタ欧州中央銀行（ECB）専務理事、講演

○17:30 ◎ 9月香港消費者物価指数（CPI、予想：前年同月比▲0.3%）

○17:30 ◎ ホールデン英中銀金融政策委員会（MPC）委員、講演

○18:25 ◎ ベイリー英中銀（BOE）総裁、講演

○20:00 ◎ トルコ中銀、政策金利発表（予想：12.00%に引き上げ）

○21:30 ◎ 前週分の米新規失業保険申請件数／失業保険継続受給者数（予想：86.0万件／950.0万人）

○23:00 ◎ 10月ユーロ圏消費者信頼感指数（速報値、予想：▲15.0）

○23:00 ◎ 9月米景気先行指標総合指数（予想：前月比0.7%）

○23:00 ◎ 9月米中古住宅販売件数（予想：前月比5.0%／年率換算630万件）

○23日 02:10 ◎ バーキン米リッチモンド連銀総裁、デイリー米サンフランシスコ連銀総裁、講演

○米財務省2年、5年、7年債入札条件

○米共和、民主両党大統領候補のテレビ討論会

※「予想」は特に記載のない限り市場予想平均を表す。▲はマイナス。

※重要度、高は☆、中は◎、低◇とする。

※指標などの発表予定・時刻は予告なく変更になる場合がありますので、ご了承ください。

## 【前日までの要人発言】

21 日 05:50 メドウズ米大統領首席補佐官  
「ペロシ米下院議長とムニューシン米財務長官の協議は終了。協議で順調な前進。明日午後に再度協議」  
「全員が週末まで合意のため努力」  
「明日 21 日の協議進展を予想」  
「経済対策巡り多くの違いがある」  
「トランプ大統領は 1.9 兆ドル規模の経済対策を予定。米下院議長が受け入れるかどうかは明確ではない」  
「ペロシ氏は経済対策巡り非常に小さな譲歩をした」

21 日 10:38 桜井日銀委員  
「日本経済は引き続き厳しい状況に変わらないが、持ち直しつつあることは確認できる」「日本経済が徐々に回復過程に入るとのシナリオに一定の蓋然性がある」  
「政府と協力しつつ必要に応じて迅速適切に政策対応」  
「緩和的な金融環境の維持を約束の金融政策方針は、重要な役割」「主要国の金融政策に差がなくなり、通貨調整は生じづらい」

21 日 11:35 トランプ米大統領報道官(NY タイムズ紙報道に関して)  
「トランプ大統領と中国の銀行の関係はゼロ」

21 日 11:48 格付け会社フィッチ・レーティングス  
「ニュージーランドの慎重な財政管理は、今後数年間の公的債務水準の上昇リスクを軽減する」  
「コロナウイルスが再拡大すればニュージーランドの景気回復を停滞させるだろう」

21 日 12:36 菅首相  
「必要に応じて躊躇なく対策を講じたい」

21 日 16:39 ミシェル欧州理事会常任議長(EU 大統領)  
「英国は Brexit で大きな決断を迫られている」  
「我々は Brexit 協定を望んでいるが、どんな犠牲を払ってでもではない」「平等な競争場が重要であり、それは公正な競争の問題である」「英国の主権を尊重」  
「我々はノーディールの結果にも備えている」

21 日 16:54 バルニエ英 EU 離脱席交渉官  
「EU は英国と合意を望んでいることを委員会は協調」  
「ブレグジットに対する EU のスタンスは変わらない」  
「最終日まで我々は合意を見出し続ける」  
「英国との合意はすぐ近く」

21 日 18:49 シェフチョピッチ欧州委員会副委員長  
「漁業に関する公正な取引なしでは、貿易に関する公正な取引はない」  
「EU はさらなる協議に向けて姿勢を変えない」  
「前回の合意がしっかりと尊重されない限り、新たな合意はない」

21 日 19:00 英首相報道官  
「政府はバルニエ氏のコメントを注意深く検討する」

21 日 20:24 ジョンソン英首相  
「実効再生産数 R が 1 を下回ればティア 3 を解除する」  
「ティア 3 のエリアはすでに改善している」  
「政府は規制への地域的・地域的なアプローチを追求」  
「ティア 3 の決定は 28 日ごとに見直される」

21 日 21:45 ラムスデン BOE(イングランド銀行)副総裁  
「将来的にマイナス金利を排除しない」  
「現時点ではマイナス金利に向かうケースを想定しない」  
「マイナス金利は英国銀行システムにとって特に懸念」  
「BOE は、適切であると確信するまでは政策の引き締めを行わないことにコミット」

21 日 21:54 ブレイナード米連邦準備理事会(FRB)理事  
「利上げを行うならば段階的であるべき」  
「インフレが 2%に戻り超えてくると予想できるまでゼロ金利を続ける」「経済回復は非常に不確実でまばら」

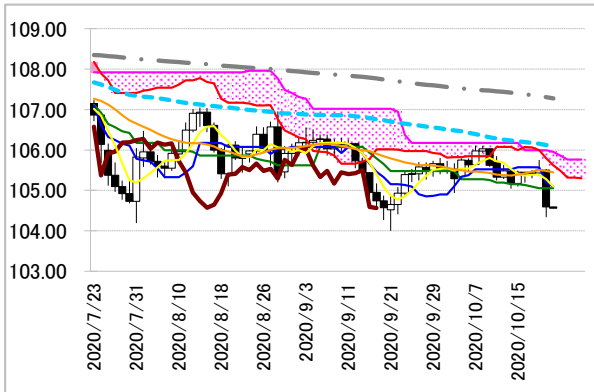
21 日 23:11 クドロー米国家経済会議(NEC)委員長  
「米経済対策巡る合意に近づいている」  
「マコネル上院院内総務(共和党)の経済対策についてコメントできない」

22 日 01:23 ペロシ米下院議長(民主党)  
「米追加経済対策巡り、合意の見込みはあると考えている」「大統領選前の合意を望む」

22 日 03:09 米地区連銀経済報告(ページブック)  
「米経済活動は全ての地区で拡大を継続」  
「成長は継続したもののペースは僅かから緩やか」  
「製造業は適度なペースで拡大」  
「多くの地区で商業用不動産の状況が悪化」  
「個人消費の伸びは引き続きプラス」

※時間は日本時間

## 〔日足一目均衡表分析〕

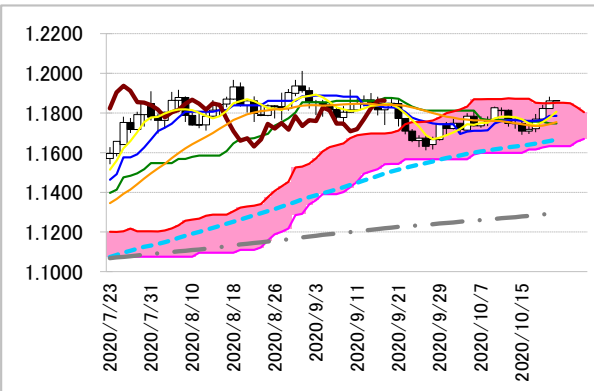


### <ドル円＝転換線を抵抗に戻り売りスタンス>

大陰線引け。一目・転換線は基準線を上回っているものの、遅行スパンは実線を下回り、一目・雲の下、一目・転換線の下で引けていることで、売りシグナルが優勢な展開となっている。抱き線で転換線を下回って引けていることで、続落の可能性が示唆されている。

本日は、転換線を抵抗に戻り売りスタンスで臨み、同線を上抜けた場合は手仕舞い。

レジスタンス1	105.10(日足一目均衡表・転換線)
前日終値	104.59
サポート1	104.00(9/21 安値)
サポート2	103.09(3/12 安値)

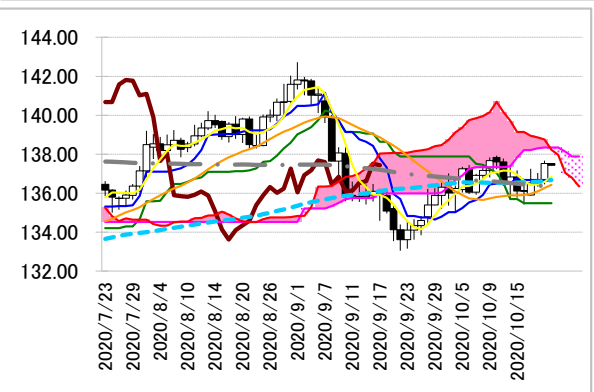


### <ユーロドル＝転換線を支持に押し目買いスタンス>

陽線引け。一目・転換線は基準線を上回り、遅行スパンは実線を上回り、一目・雲の上で引けていることで、三役好転の強い買いシグナルが点灯した。4手連続陽線で、転換線、雲の上限を上回って引けていることで、続伸の可能性が示唆されている。

本日は、転換線を支持に押し目買いスタンスで臨み、同線を下抜けた場合は手仕舞い。

レジスタンス1	1.1900(9/15 高値)
前日終値	1.1861
サポート1	1.1785(日足一目均衡表・転換線)

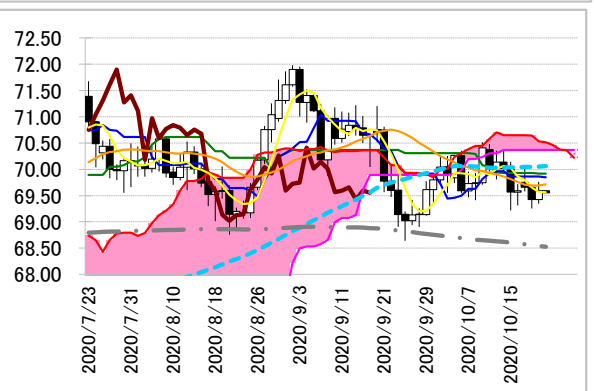


### <ポンド円＝転換線を支持に押し目買いスタンス>

陽線引け。一目・転換線は基準線を上回り、遅行スパンは実線を上回り、一目・雲の下で引けているものの、転換線を上回って引けていることで、買いシグナルが優勢な展開となっている。4手連続陽線、転換線を上回って引けたことで、続伸の可能性が示唆されている。

本日は、転換線を支持に押し目買いスタンスで臨み、同線を下抜けた場合は手仕舞い。

レジスタンス1	138.22(日足一目均衡表・雲の下限)
前日終値	137.52
サポート1	136.68(日足一目均衡表・転換線)



### <NZドル円＝雲の下限を抵抗に戻り売りスタンス>

陽線引け。一目・転換線は基準線を下回り、遅行スパンは実線を下回り、一目・雲の下で引けていることで、三役逆転の強い売りシグナルが点灯中。孕み線で反発しているものの転換線を下回って引けていることで、反落の可能性が示唆されている。

本日は、雲の下限を抵抗に戻り売りスタンスで臨み、同線を上抜けた場合は手仕舞い。

レジスタンス1	70.37(日足一目均衡表・雲の下限)
前日終値	69.59
サポート1	69.22(10/15 安値)

